

檄

いよいよ後半戦、社民党の公認、推薦候補の全員当選をめざして闘おう！

全国の仲間の皆さん、党員の皆さん、そして候補者、支持者の皆さん。連日の選挙戦勝利にむけたご奮闘に心から敬意を表します。

本日、全国の89の市長、295の市議会、東京では11の区長、21の区議会における選挙が告示されました。21日には122の町村長と373の議会選挙も告示されます。

4月26日の投票日までの8日間、元気いっぱい、政策を訴え、地域を駆けめぐることが願うとともに、私もその先頭に立って闘います。

前半の道府県・政令市議会の選挙は、全体として厳しい結果でしたが議席を増やした県もあります。後半戦も社民党の総力をあげて挽回をはかり、参院選にむけ前進しましょう。

今回の統一自治体選挙は、憲法9条に反して集団的自衛権の行使を容認し、戦争できる国へと突き進む安倍・自公政権に地域から歯止めをかけ、いのちと暮らしを守り、住民が主役の豊かなまちづくりを推し進めるための選挙です。

選挙後すぐに米軍と自衛隊の一体化を進める新ガイドラインの合意、5月には安全保障法整備と言い繕った戦争関連法案が国会に提出されようとしています。

憲法を踏みにじる安倍政権の暴走、原発再稼働や格差拡大を促進するアベノミクスに対し、社民党は多くの国民の願いである不戦を誓った平和憲法擁護、原発ゼロ、貧困・格差是正のために全力をあげて闘います。

地方自治は平和の担い手であり、住民の福祉増進を図ることが求められています。

そして自治体議員は、主権者である住民の代表であり、特に市区町村の議員は、住民と身近に接し、地域の課題をとりあげ、解決していく担い手です。

私は、「平和と福祉はやっぱり社民党」、「人といのちが輝くまち」を掲げて、全国各地で社民党の政策を訴え、社民党の宝である候補者を応援します。

厳しい選挙戦となるでしょうが、市・区議会の選挙では、公認・推薦186名、町村議会の選挙では26名の候補者、全員の当選をめざします。

社民党は、平和憲法を政治の基本とし、地方の再生をはじめ社会保障の充実、子ども子育て支援、労働者保護と雇用拡大、農林漁業の再生・食の安全安心、男女平等と若者支援、部落差別・LGBTなど人権施策の充実、米軍辺野古新基地建設反対を訴え、いのちと暮らしを守るために全力で闘います。

各候補者、選対、支持者の皆さん、今日からの選挙戦において、宣伝、説得、行動などあらゆる戦術を重ね、支持の輪を広げ、最後まで1票を獲得する努力を心より願います。

投票日まで全力でがんばりましょう。心から必勝を祈念いたします。

2015年4月19日

社会民主党

党首 吉田

